

占領下の米軍施設②

横浜の接収

横浜の中心市街地の米軍施設については、前号で紹介したとおりである。

一方、中心市街地を離れても、鶴見区・神奈川区の工場や、戸塚区・金沢区の旧日本海軍関連施設など、多くの施設や土地が接収されている。中区でも、山手の洋風住宅が接収されたほか、本牧・根岸に家族住宅が新たに建設されていた。

このように占領下の横浜における接収は、中心市街地にとどまらず郊外にも及んだ。接収された建て物や土地に設けられた米軍施設は、後掲の表の通りである。中心市街地以外の米軍施設は、数こそ少ないものの、大規模な施設が多い。本牧・根岸の家族住宅地区は広大な面積を占め、神奈川区の兵器廠や各地に設けられた倉庫、戸塚区の通信施設などは、いずれも規模の大きなものだった。

また、未返還の施設が多いのも特徴といえよう。ノースドック・鶴見貯油施設や、根岸住宅地区、深谷・上瀬谷の通信施設は、未だ返還に至っていない。占領下では、いずれも米陸軍の施設であったが、現在はほとんどが米海軍の横須賀基地あるいは厚木基地が管理している。

根岸競馬場跡

根岸競馬場は、戦時中の一九四三(昭和一八)年六月一〇日に閉場し(『朝日新聞』43・6・11)で、日本海軍が接収した。そして、観覧スタンド内に文寿堂の印刷工場が設けられ、海軍のために、地図・水路図を印刷していた。戦後、米軍は進駐と同時に、競馬場全域とこの印刷工場を接収し、引き続き文寿堂印刷に米軍の地図や部隊報告書、さらに名刺や請求書・納品書といった書類の印刷を行なわせていた(『星条旗新聞』46・3・3)。

文寿堂印刷は、戦時中に入手した用紙をめぐって、一九四八年二月に隠退蔵物資の摘発を受けた。そのため、米軍の調達業務(PD)からはずされ、



第8軍印刷工場 文寿堂 1945年 米国国立公文書館所蔵

五〇年二月には全面撤去となった(『Y LCO執務報告』第五六号・第七七号『横浜市史II』資料編1)。

この間、レースコースはモータープールとなり、乗馬場が一九四六年四月に開場し(『星条旗新聞』46・4・28)、スタンド前には子どもむけのニートナットクラブが一九四七年一月に開設されている(同47・11・21)。さらに、競馬場の内側はゴルフ場として使用されるようになった。

一方、競馬場西側の周囲から根岸台にかけては、米軍の家族住宅が建設され、現在も使用されている。横浜では本牧住宅地と並ぶ、大規模な住宅地である。一九五九年に住宅地区の管理が陸軍から海軍に移ると、観覧スタンド内には米海軍住宅管理部の司令部が入った(横浜市総務局『横浜市における接収解除の経緯と現況』一九六六年)。

家族住宅

米軍の家族住宅には、標準の仕様があった。アパート形式ではなく戸建てであるが、二〜三戸の連戸式が多かった。間取りは階級や家族構成に応じて、いくつかのタイプが用意されていた。バス・トイレの他に、四〜五部屋の間取りが標準であった。これは、夫婦の寝室とは別に必ず子どもの寝室を設けていたからである。(以下、米軍家族住宅について詳しくは、小泉和子編『占領軍住宅の記録』住まいの図書館出版局、一九九九年を参照)

各家の家具や電気製品は、備え付けで、それらについても米軍指定の標準仕様があった。そして、家の建築に加えて、これらの家具や電気製品の製造には、日本の業者が当たった。戦後日本の製造技術が、このことによって発展したともいわれる。米軍の仕様は、母国と同じ生活を維持できることを原則としていたが、日本における資材調達や技術の現状に合わせた設計がなさ



キティー台風で屋根に被害を受けた家族住宅 1949年9月 米国国立公文書館所蔵



本牧住宅地区の家族住宅 1946年10月 米国国立公文書館所蔵

神奈川区	135	モータープール	反町・桐畑	1945年12月31日	1947年5月20日～11月24日
	136	三菱倉庫	大野町(三菱倉庫)	1946年2月9日	1952年9月12日
	137	第519MP部隊地区	三ツ沢南町(県立第二中学校)	1945年9月24日	1955年12月27日
保土ヶ谷区	138	高射砲陣地	花見台(花見台公園)	1950年12月25日	1955年12月15日～1966年3月29日
	139	墓地	狩場町(保土ヶ谷児童遊園地)	1946年6月20日	1952年7月1日
	140	保土ヶ谷カントリークラブ・将校クラブ	常盤台(保土ヶ谷カントリークラブ)	1945年9月16日	1949年8月25日～1952年4月1日
	141	北辰兵器修理工場	川辺町(神奈川興業)	1945年10月15日	1949年10月27日～1958年8月26日
西区	142	横浜PX倉庫	花咲町(横浜タクシー)	1945年11月30日	1955年1月12日
	143	道路建設資材置場	南幸町	1946年10月3日	1952年8月1日
	144	第519MP部隊地区	北軽井沢(三菱重工寄宿舍)	1945年9月24日	1955年12月27日
	145	三菱ホテル(重属宿舎)	緑町(三菱重工)	1945年10月2日	1953年10月26日～1956年9月11日
南区	146	中部司令部QM倉庫／米陸軍医料倉庫	井土ヶ谷(昭和实施)	1945年9月11日	1951年5月31日～1963年8月30日
	147	キャンプ・マクネリー	花ノ木町・宮元町・宿町	1946年4月2日	1950年7月10日～1956年12月14日
戸塚区	148	大船倉庫地区	小菅ヶ谷町(旧海軍第一燃料廠)	1952年4月29日	1956年1月13日～1967年1月20日
	149	PX中央倉庫	上倉田町・吉田町(日本光学(旧戸塚競馬場))	1945年11月5日	1949年2月8日～1958年5月16日
	150	深谷通信所	深谷町(旧海軍通信隊)	1945年9月2日	
	151	上瀬谷通信施設	瀬谷町(旧海軍倉庫)	1951年3月15日	
磯子区	152	高射砲陣地	岡村町(岡村公園)	1951年1月27日	1966年3月29日
金沢区	153	小柴貯油施設	柴町・長浜(旧海軍倉庫)	1948年10月3日	1953年9月2日～2005年12月14日
	154	通信修理隊／富岡倉庫地区	富岡町(旧海軍横浜航空隊)	1945年9月2日	1965年1月31日～2009年5月25日
	155	杉田兵器工場	富岡町(日本飛行機)	1945年12月5日	1951年6月29日～1958年5月12日
	156	池子弾薬庫	六浦町(旧海軍第二工廠造兵部谷戸田充填所)	1945年9月1日	

出典：横浜市接收解除対策本部「横浜市内接收地調査・建物調査」・横浜市総務局「横浜市の接收と復興」・横浜市企画課「解除面積調査」・横浜市渉外部「横浜市における接收解除の経過並びにその現況」他から作成。

注：①今回は、横浜市中区の内山手・本牧・根岸地区と、その他の区を掲載した。区域は、1948年当時の区域で示した。②米軍施設名はその区域にあった代表的な施設をあげた。③日本側の地域(建物・施設名)は、土地の場合は所有者、建物・施設の場合はその名称を示した。④接收年月日は、資料によって若干のずれがあるが、施設ごとに最も適切と判断した日付を掲載した。⑤数回にわたって解除された施設の解除年月日は、最初の一部解除から最終解除までの期間で示した。

付記：接收区域については、写真集「昭和の横浜」(横浜市史資料室、2009年)掲載の「横浜港隣接地帯接收現況図」を参照されたい。

敷地はぜいたくにとつぷり取られており、住宅地の一角にはPX・カミサリ(食料品店)、さらにグラウンド・テニスコートや劇場などが設けられた。小さなアメリカの街が、そこに再現されていたのである。

こうした家族住宅に暮らす将兵と家族が、その生活を米軍施設だけで完結できるように、米軍は生活全般に及ぶ施設を横浜市内の各所に設けた。メインPXには、理容室・美容室・写真現像・時計修理・洋服仕立など、生活に必要なあらゆる種類の店が用意されていた。その他、学校・教会に加えて、ランドリーやパン・ミルク・氷・コーラなどの製造工場も市内に開設され、彼らの生活を支えていた。

そして、家族住宅と学校・教会・PXなどは、米軍専用バスで結ばれていた。こうして、市内各所の米軍施設間を結ぶ輸送ルートも網の目のように張りめぐらされ、占領下横浜には、米兵と家族の暮らす街というもう一つの街が出来上がっていたのである。

付記 今回掲載した米軍施設の一覧表は、まだ未完成の中間報告です。前回も、当時を知る読者からたいへん貴重な情報をいただきました。今後、さらに資料調査を進め、当時を知る方の証言も交え、一覧表を更新していく予定です。

(羽田博昭)



根岸住宅地区に開設されたアメリカンスクール 1950年
米国国立公文書館所蔵



本牧住宅地区に開設された教会 1950年
米国国立公文書館所蔵

占領期の米軍施設2(中区②他)

区		米軍施設名	地域(建物・施設)	接収年月日	解除年月日
中区②	85	オリンピックプール	元町(元町プール)	1946年3月1日	1952年4月8日
	86	山手住宅地区	山手町・山元町他	1946年6月17日	1950年6月22日～1972年2月9日
	87	YEDクラブ	山手町	1946年5月9日	1952年7月25日～1953年8月3日
	88	タガテイ・リッジ・コート士官宿舎	山手町(フランス山)	1946年3月25日	1956年10月9日
	89	ヒルサイドテニスコート/住宅地区	山手町(山手公園・庭球場)	1945年9月25日	1952年4月10日～1961年3月
	90	アメリカン・ハイ・スクール	山手町(横浜女子商業学校)	1946年10月1日	1952年9月22日
	91	横浜冷蔵倉庫	新港町(船舶給水所)	1945年9月3日	1956年3月5日～1994年4月1日
	92	第二メジャーポート	新港町(新港埠頭)	1945年9月3日	1951年10月26日～1960年11月21日
	93	富士倉庫	新山下町(富士倉庫)	1945年9月30日	1956年5月25日～1961年9月11日
	94	士官宿舎/軍属宿舎	新山下町(バンドホテル)	1945年8月27日	1956年10月31日
	95	ベアサイドコート(独身将校宿舎)	新山下町	1956年5月29日	1982年3月31日
	96	第2メジャーポート/横浜海上救難施設	新山下町	1945年8月31日	1953年10月9日～1967年6月9日
	97	通信大隊地区/ ベアサイドコート(独身将校宿舎)	新山下町(新山下町)	1945年12月3日	1954年3月31日～1959年8月25日
	98	ホワイト・エンサインクラブ/プール	新山下町(海洋道場)	1945年9月30日	1958年10月15日～1952年12月23日
港北区	99	1号住宅地区(横浜海浜住宅地区)	本牧・小港町	1946年2月15日	1953年3月31日～1982年3月31日
	100	小学校/アメリカン・スクール	本牧町(本牧小学校)	1947年9月15日	1954年7月
	101	2号住宅地区(横浜海浜住宅地区)	本牧町他	1946年10月10日	1955年1月18日～1982年3月31日
	102	X住宅地区(根岸住宅地区)	蓑沢他	1947年10月16日	1953年3月31日～1984年1月20日 (一部)
	103	ニートナッククラブ/ 根岸競馬地区自動車置場/ 米海軍住宅管理司令部/ゴルフ場	蓑沢町(根岸競馬場)	1945年9月3日	1950年5月11日～1969年11月23日
	104	JLC滑走路・修理部	根岸町他(根岸海岸)	1945年9月26日	1955年3月11日～1960年6月30日
鶴見区	105	中山通信施設	荏田町	1954年2月1日	1961年6月30日
	106	高射砲陣地	岸根町(岸根公園)	1951年4月1日	1955年12月22日～1966年3月29日
	107	岸根バラック/第106総合病院	岸根町(岸根公園)	1955年4月12日	1972年8月25日
	108	田奈弾薬倉庫	奈良町(旧陸軍兵器補給廠)	1945年9月2日	1954年2月18日～1961年5月5日
	109	自動車修理学校/慶応大学住宅地区	日吉町(慶応大学日吉)	1945年9月9日	1949年9月28日～1957年10月15日
神奈川区	110	ウイレイ・B・ブルークス兵舎	箕輪町(岡本工作)	1945年9月9日	1957年3月22日
	111	鶴見貯油施設	安善町	1953年12月1日	
	112	陸軍消防施設	生麦町(鋼材興業)	1946年1月2日	1953年4月17日～1958年1月23日
	113	日新ドラム缶置場	生麦町(日新運輸)	1951年4月1日	1958年3月3日
	114	薬品倉庫地区	大黒町(日本アスベスト・日本肥料)	1945年9月2日	1949年7月1日～1961年2月28日
	115	鶴見野積場	大黒町(鶴見油脂・日産自動車・ 日本化学工業他)	1945年9月21日	1958年7月16日～1972年5月15日
神奈川区	116	横浜工廠資材置場	末広町	1950年12月15日	1956年2月9日～1960年11月28日
	117	神奈川ミルクプラント	亀住町・稲荷町(神奈川県立金属指導所)	1946年4月15日	1953年2月14日～2000年3月31日
	118	QM(横浜)ランドリー	山内町	1946年8月31日	1972年1月17日～10月20日
	119	横浜ベーカリー	金港町	1946年4月25日	1949年1月11日～1977年9月9日
	120	横浜兵器廠(YOD)LVT	恵比寿町(横浜ゴム他)	1945年10月15日	1952年11月22日～1957年10月31日
	121	横浜兵器廠(YOD)サイロ	恵比寿町(昭和電工)	1946年2月14日	1952年11月22日～1955年3月18日
	122	横浜兵器廠(YOD)	守屋町(フォード)	1945年9月10日	1952年9月6日
	123	横浜兵器廠(YOD)	守屋町(日本ビクター)	1945年10月1日	1958年5月1日～1955年1月11日
	124	QM貯油所	守屋町(日本石油)	1945年10月21日	1953年10月14日
	125	QM貯油所	守屋町・宝町(日本石油)	1945年9月20日	1950年4月20日～1958年11月10日
	126	横浜兵器廠(YOD)	宝町(日産自動車)	1945年9月10日	1954年8月5日～1955年6月24日
	127	高射砲陣地	子安台公園	1951年4月1日	1953年1月29日～1966年3月29日
	128	ロスコ・M・カルコーテ兵舎	新子安(日産自動車学校他)	1946年3月30日	1958年4月15日
	129	横浜兵器廠(YOD)兵舎	新子安・入江町(日本鋼管他)	1945年10月20日	1958年3月4日
130	兵舎(ピンクスクール)	神奈川通(神奈川小学校他)	1945年10月6日	1957年1月10日	
131	ノースドック付近地区兵舎	千若町・神奈川通他(日本カーボン他)	1945年9月8日	1949年5月9日～1965年12月31日 (一部)	
132	横浜ノースドック	瑞穂町(瑞穂埠頭)	1945年9月26日		
133	横浜兵器廠(YOD)事務所	青木通(神奈川会館)	1945年9月26日	1952年9月19日	
134	モータープール	青木通(神奈川公園)	1945年9月26日	1947年6月18日～1952年9月19日	